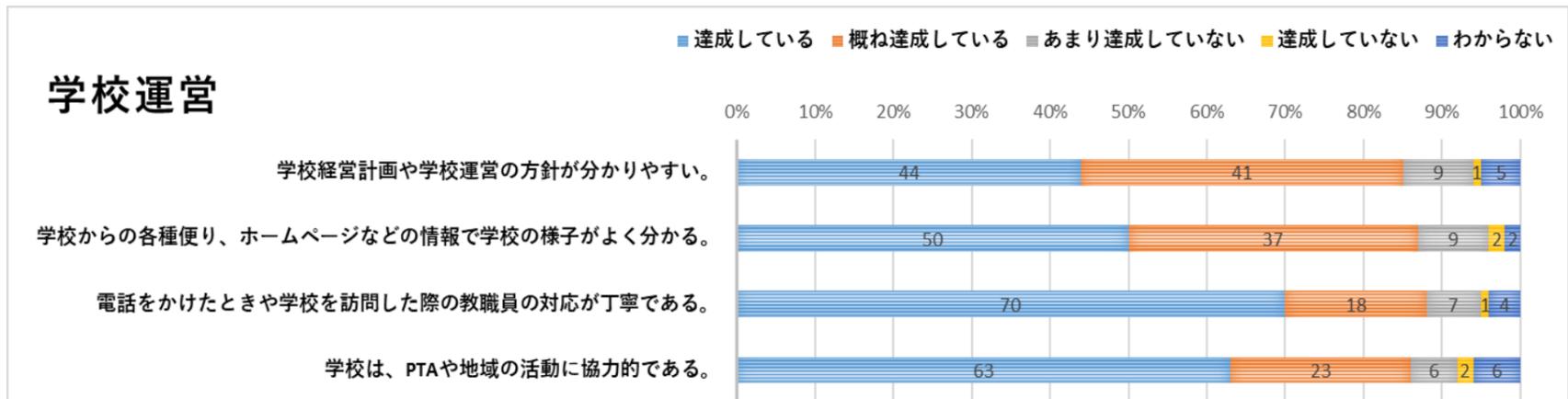


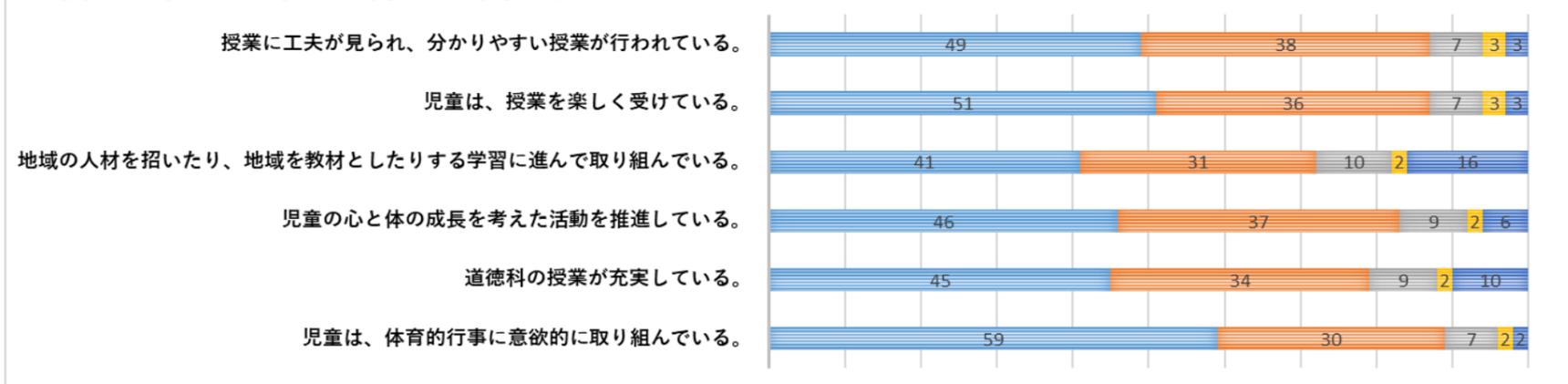
令和3年度 学校関係者評価のご報告

本校の学校運営に、ご理解・ご協力いただき感謝しております。学校評価にご回答いただきまして、誠にありがとうございました。皆様に、本年度のアンケート結果をご報告いたします。



- 今年度も「学校経営計画」は、資料配布及びホームページの掲載という形で、校長からお示しさせていただきました。また、全体保護者会では、新型コロナウイルス感染症対策のため、放送により概要のみご説明いたしました。この「学校経営計画」に基づき、よりよい教育の実現を目指して、私たち教職員は日々丸となって取り組んできました。学校運営の実際につきましては、毎月の学校便りや各学年の学年便り等でお知らせしています。
- 学校からの情報公開の一つとして、今年度からTwitter【赤坂小学校公式アカウント】を開始し、行事や日頃の学校生活の様子などを随時掲載しています。移動教室の際には、箱根から6年生の保護者に向けて、活動の様子をお知らせしました。また、昨年度と同様に、保護者会の際には資料をホームページに公開し、事前に目を通していただき、内容を理解した上で保護者会に出席していただけるようにしました。さらに、港区メール配信サービスを活用し、緊急対応のみならず大切なお知らせがある場合にも、スピード感をもって保護者の皆様に伝えるように心掛けています。今後、配信登録100%を目指し、今回のようなアンケート類についてもデータ化を進め、紙ベースのお便りをできるだけ減らしていこうと考えています。
- 昨年度より、働き方改革の一環として、留守番電話の設置やスクールサポートスタッフによる電話対応が始まりました。服務研修等を通して、今後も教職員一同丁寧な対応を心掛けてまいります。
- 地域コーディネーターやPTAを通して、保護者ボランティアの皆様には、書き初め展のお手伝い、図書館蔵書点検等、本校の教育活動にご協力いただいております。また、6月・11月に行われた通学路点検では、教員・PTA・警察などの地域の方が協力して通学路点検を行い、子供たちが安全に登下校したり、地域で遊んだりできるよう共通理解を図りました。

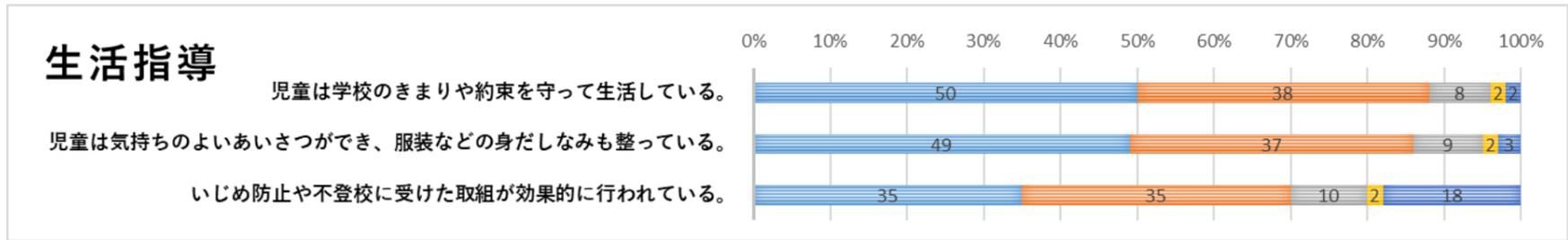
学習指導・道徳・体育的行事



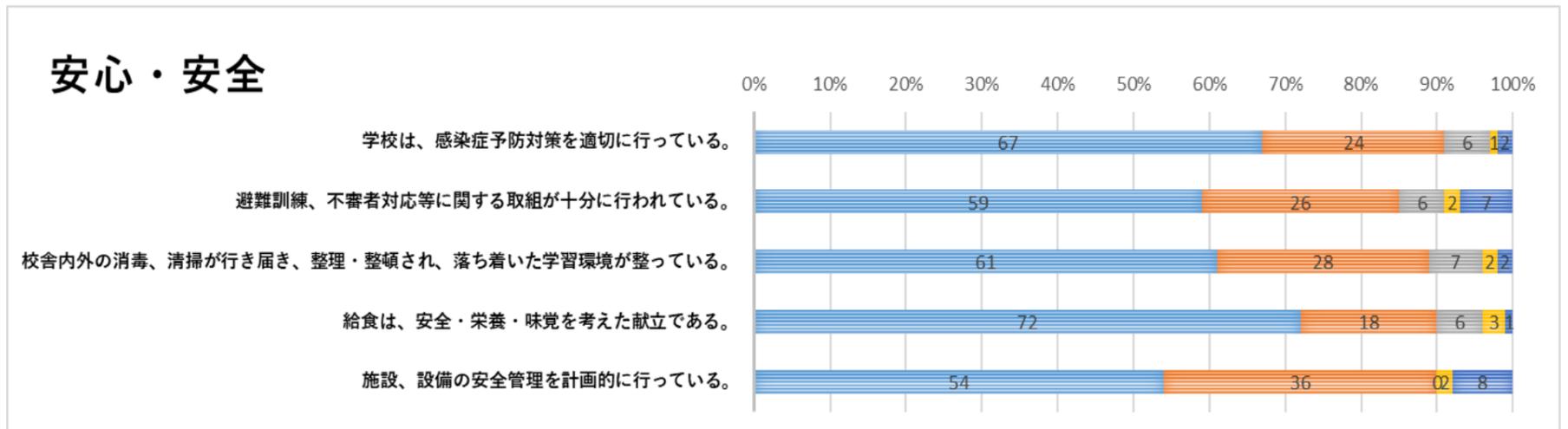
- 本校では今年度、算数科を中心にペア・グループ学習と集団検討を効果的に活用した授業により、子供たちの論理的思考力を高める研究を行ってきました。全体の系統性を意識しながら、各学年の立場から、児童が意欲的に学習できる工夫を凝らした授業デザインを進めています。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症対策に伴い、校外学習を含む行事、外部からの講師をお招きしての学習等を、例年通り実施することは難しい状況でした。そのような中でも、感染症対策を講じた上での校外学習・学校行事、道徳授業地区公開講座を始めとした学校公開を実施し、保護者の皆様に参観していただくことができました。また、今年度は赤坂警察署にご協力いただき、交通安全・不審者対応・インターネットやSNSの使い方・薬物乱用防止など、子供たちの発達段階に合わせて、セーフティ教室を実施いたしました。さらに、活発に異学年と交流する姿が見られた「赤小こどもまつり」や、リモートによる交流や出前授業を通して、子供たちに多くの体験や学びの場を提供することができました。新たな取組「みなと子どもエコアクション（みなエコ活動）」として、委員会活動を柱にSDGsに基づく活動を工夫し、エコキャップ3万個運動や、テープの巻き芯回収なども行っています。
- iPadの本格導入、全校オンライン授業等への取組により、新たな課題発見や授業改善の機会とすることができました。来年度以降も地域や企業

等の人材や教材を活用したり、教員の研修機会を確保したりすることで、充実した授業実践へとつないでまいります。

- 今年度は、運動会を実施できたことが大きな収穫でした。感染症対策の一つとして、児童も保護者の方も入れ替え制で実施したところ、「わが子の様子を、ゆとりをもって見ることができた」「今後もこの形がよい」などというお声をいただきました。令和4年の運動会は、高学年が一貫校の新校舎へ移る前に行う予定です。今回の経験をヒントとして、よりスムーズで効果的な形での開催を検討してまいります。



- 日常的にマスクを付けているため、相手の表情を読み取りにくい日々が続いていますが、「あいさつ週間」での意識啓発や、生活態度の見本を大人が率先して示すことで、「明るく開かれた学校」を目指しています。自分の思いの伝え方、SNS やお金の使い方等、学校で共通理解すべききまりや約束は、全校で確認したり、学年集会で共通理解を図ったりしています。保護者会や学年便りでお知らせした内容は、家庭でも話題にし、お子さんの様子をご確認ください。保・幼小中学校の連携の観点からも、学校生活のきまりを共通理解し、中学校進学へ向け身に付けておくべき社会的なルールに気付くことができるよう、指導してまいります。
- いじめや不登校の取組については、毎年「E：わからない」という評価を多くいただきます。なかなか積極的に公開できない事項ですが、本校では毎月「学校生活アンケート」を行うとともに、12月には「体罰についてのアンケート」を実施し、その回答結果で気になる児童がいた場合には面談を行い、いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応に努めています。また、毎週金曜日には生活指導夕会を行い、児童の様子や学級の状況について、教職員全体で共通理解を図っています。さらに、必要に応じて関係諸機関とも連携しケース会議を実施するなど、チームによる対応を進めています。その他、スクールカウンセラーによる全員面談（4・5年生）や個人面談で返却する「HyperQ-U」の結果（4～6年生）等を活用し、多面的に児童の様子を捉え、個別に対応するよう心掛けています。



- 毎日の健康状態の確認、手洗いの励行、換気、黙食などは継続中です。港区のガイドラインに則り、今後も安全を最優先にして教育活動を行っていきます。毎月の避難訓練も実施方法を工夫し、避難経路の確認を中心に実施しました。また、朝や休み時間など指導者が近くにはいない場合の災害を想定し、児童が主体的に避難行動をとることができるような訓練も行いました。その他、幼小中連携した引き取り訓練を実施し、有事の際の動きについて確認しました。不審者対応につきましては、訓練に加えて赤坂警察署と連携して情報共有を行い、交通安全を含め、安全な登下校ができるようにしています。ご家庭でも引き続き、防犯ブザーを点検し、電池の入れ替えや故障時の対応をお願いいたします。また、連れ去りなどの事件に巻き込まれないために、遅刻や早退の際には、必ず保護者の付き添いやお迎えが必要であることを改めてご確認ください。
- 給食に関しては、今年度も新1年生の保護者の方にご来校いただき、少人数に分けた形での給食体験会を実施しました。児童が楽しんで食事することができるよう、行事食や誕生日給食などの様々な献立の工夫があることをご理解いただきました。

おわりに

赤坂小学校の学校関係者評価のアンケートは、回収率が非常に高く、全体の9割を越えています。これは保護者の皆様、そして地域の皆様が、本校の教育活動、そして子供たちの成長に大いに関心を持ち、教育活動にご理解・ご協力くださっているお陰だと考えています。また、上記以外にも多くの自由意見をお寄せいただきました。これらを基に、新年度の教育課程や指導計画を作成し、本校の教育目標「やさしさと思いやりのある子」「よく学びよく遊ぶ子」「心と体をきたえる子」の具現化に努めます。

令和4年度の秋には、赤坂中学校の新校舎が完成し、5・6年生が新校舎に移ります。そして、令和5年度に「赤坂中学校区小中一貫教育校」として開校します。これからも、保・幼小中の連携を深めながら、コミュニティ・スクールとしてPTAや地域の皆様と共に、開かれた学校づくりに努めてまいります。